

南京大虐殺 生存者の証言を聞く会 in 神戸

神戸・南京をむすぶ会は今年も中国より「生存者」(中国では幸いに生存したという意味でこの言葉をつかいます)をお迎えして証言集会を開きます。むすぶ会は、96年に「南京1937 絵画展」を開催したメンバーが作った市民グループで、毎年8月には南京大虐殺の現場等を訪ねるフィールドワークを行なっています。今夏は、南京・瀋陽・長春を訪問しました。

毎年12月には南京から生存者を招いて証言集会を開催しています。

日本国内では、未だに「南京大虐殺はまぼろし」と主張する人々が、様々な方法でこうした日本軍の蛮行の事実を、歴史の間に葬り去ろうとしています。歴史をねじ曲げ、侵略を美化する動きを許してはなりません。

今年は下記のとおり生存者をお招きして証言集会を開催いたします。ふるってご参加ください。

日時 2008年12月10日(水) 午後6時30分

会場 神戸学生青年センターホール

TEL 078-851-2760 阪急六甲下車徒歩3分

参加費 1000円(学生500円)

証言 黄恵珍(ファン フェイチン)さん

(女性、1922年生まれ、86歳)

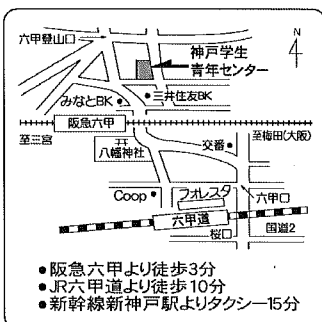
当時28歳の兄は日本兵に手の平と帽子を見られました。先程一緒に日本兵を見ていた50歳近くの知らない小母さんが手を掴まれて連れて行かれ、強姦されました。その部屋はすぐ近くだったので窓からその様子がみんなに見えていました。私たち家族4人は怖くて立っていました。しばらくすると日本兵は出てきて、私も同じように手を掴まれて部屋の中に連れて行かれました。日本兵は何も話さず、部屋に入るとすぐ私は押し倒されて強姦されました。父と母はなすすべもなく外に立っていました。恐ろしさの余り母の顎は外れ、大便も小便も流していました。日本兵が部屋から出て行くと私は泣くしかありませんでした。ただただ泣いていました。

兄と一緒に日本兵に連れて行かれた残りの12人は誰一人戻っては来ませんでした。後で聞いた話によると、下関へ連れて行かれて全員殺されたそうです。

(収容所で)ベッドがなかったので多くの若い女性が床に寝ていました。その中から日本兵は皮膚が白くて綺麗な女性を4、5人捕まえて駆け足で出て行きました。どこに連れて行かれたのか分かりませんし、その後戻って来た人は一人もいません。



※生存者招請のための募金をお願いします。送金先・郵便振替<00930-6-310874 むすぶ会>



- 阪急六甲より徒歩3分
- JR六甲道より徒歩10分
- 新幹線新神戸駅よりタクシー15分

主催: 神戸・南京をむすぶ会

(代表/佐治孝典、副代表/佐藤加恵、林同春)

〒657-0064 神戸市灘区山田町3-1-1 神戸学生青年センター内

TEL 078-851-2760 FAX 078-821-5878

<http://www.ksyc.jp/nankin/> e-mail hida@ksyc.jp

後援: 神戸学生青年センター